

様式第2号（第3条、第6条、第7条及び第8条関係）

事業計画書（実績書）

令和8年3月30日

団体名 有道佐一記念ミュージアム『自適館』

事業の目的 （何のために行う事業なのかなど、事業の趣旨や目的を記入してください。）	綾部・山家出身で、現代アートの巨匠・ジャコモメッティなどから世界的評価を得た画家有道佐一。一昨年はグンゼの「集蔵」で、昨年は京都市京セラ美術館で、没後40年回顧展が開催され、じつに6000人以上が鑑賞し、改めて有道画伯の作品の魅力を実感した。しかしながら、その後、有道佐一の作品に触れたいと思っても常設展示されているところがどこにもなく「綾部の宝を十分に生かされない残念な状態」が続いている。 綾部市民だけでなく東京・大阪などからのファンの受け皿（観光資源）ともなる「有道佐一美術館」設立が待たれるところであるが、そのつなぎとして若松町にある日本家屋の一軒家を借り受け、私設ミュージアムとし、年に数回の企画展を実施。市内外の多くの方に有道佐一、そして有道佐一が描いたあやべの自然を鑑賞していただく。また市内の旧家などに眠っている有道佐一作品を再発掘し、有道佐一の作品を通じて、新たなつながりを構築していくもの。
事業の名称	綾部出身、不世出の画家・有道佐一を見直し、次の世代につなげていくための私設美術館事業
事業費 （市補助金）	392,339円 (200,000円)
補助金の使途 （団体活動のどんな事業経費に補助金が充当されるか記入してください。）	・3回の企画展の運営として、それぞれのポスター・チラシ・解説書関連のデザイン、印刷代。 ・同企画展における受付・会場整理業務など外部委託費（シルバー人材センター） ・展示会用解説パネルのスキャン、コピー、プリント代 ・会場設営における需品費 ・作品の搬入・搬出における運搬代 ・綾部市内で有道佐一に触れられる場所MAPの制作・印刷費 ほか
事業実施期日	① 2025年7月26日～8月2日「有道佐一と富士山展」 ② 2025年11月1日～9日「有道佐一と生きとし生けるもの」 ③ 2026年3月12日～15日「紅白 白梅二刀流を楽しむ」 ※2026年2月3日から3月29日までは「あやべの街なかで「『有道佐一作品』に出会う」も開催
事業実施場所	有道佐一記念ミュージアム『自適館』（若松町24－5） 綾部駅南口を中心とする17の商業施設
事業の概要 （事業の実施方法、内容について記入してください。）	プレイベント（実験イベント）として4月22日から4月29日まで上記場所で『幻の有道佐一 衝立絵と扁額』展を開催。市内各所にポスターを掲出したほか、あやべ市民新聞やFMいかるなどの地域メディアはもちろん、毎日新聞や京都新聞などでも大きく取り上げてもらったことで、多い日は一日40人以上が来館。基本はこれをベースにした企画展を年度内に3回実施。（神宮寺町の千手院、志賀郷の真福寺ほか学校や公民館などに「有道佐一作品」が掲出されていたり保存されていたりするので、それらを整理し各所の協力を得ながらの展示会を実施）。また2月と3月の2ヶ月は、商業施設17カ所に協力いただき、あやべの街全体で有道佐一美術展という新しい試みも実施。 【来場者数：約300人】
補助金の効果(成果) （計画書では期待できる効果を、実績書では得られた成果を記入してください。）	「自適館」の企画展には延べ約300人が綾部市内外から来館。綾部市内の商業施設とも連携したこと、さらにあやべ市民新聞での10回の連載をはじめ京都新聞、毎日新聞ほか多くのメディアに露出できたことで、「自適館」来館者だけではなく、数十万レベルの人に有道佐一の魅力を訴求することができた（世界的評価を得た、いわばあやべの至宝「有道佐一」という他所にはない資産に光をあてて、若い世代へとその素晴らしさをつなげられた）。市内に眠っている有道佐一作品を発掘し、市民所蔵の作品などを展示することで、市民が参加する他所にはない美術展を実施できたほか、あやべの商店街等のいろいろなお店で同じ作家の作品を展示する本邦初の企画展も実施。先進的な《アートを通した町おこし》事例、地域創生事例を創出することができた。

様式第 4 号（第 3 条、第 7 条及び第 8 条関係）

収支計算書

令和8年3月30日

団体名 有道佐一記念ミュージアム「自適館」
(単位 円)

収入の部	区 分	予算額	収入済額	明 細
	市補助金	200,000	200,000	
	企画展協力金	90,000	152,400	会費は無料だが鑑賞者に志納（献金）いただいた総計
	自己資金	235,000	39,939	
	合 計	525,000	392,339	
支出の部	区 分	予算額	支出済額	明 細
	デザイン代	150,000	143,000	企画展3回分のポスター、フライヤーなど&MAPのデザイン
	印刷代	200,000	157,880	フライヤー、ポスターなどの印刷費（ネットプリント）
	人件費	135,000	80,496	企画展受付 会場整理（シルバー人材センター）
	需品費	20,000	4,863	会場設営消耗品購入など
	通信運搬費	20,000	6,100	作品返却運搬・宅急便代メディアなどへの案内状発送費
	合 計	525,000	392,339	
差 引		0	0	